

# 議会報告



令和2年第1回定例会市会が開かれ、令和2年度神戸市予算案及び関連議案が審議されました。本会議において、上畠寛弘議員(東灘区)、平野達司議員(兵庫区)、坊やすなが議員(北区)が自由民主党神戸市会議員団を代表し、市長及び関係当局に質疑を行いました。また、河南ただかず議員(中央区)が総括質疑を行いました。質問項目は下記の通りです。

**代表質問**  
2月25日  
東灘区選出  
**上畠寛弘**  
議員

- 神戸市における人事労務戦略
- 民間活動導入等による業務効率化
- 労務職の処遇見直し
- 組織風土改革の取り組み
- 人事・給与制度改革
- 主任の役割・あり方の検討
- 優秀な人材の確保に向けた取り組み

**代表質問**  
2月25日  
兵庫区選出  
**平野達司**  
議員

- スマートシティの取り組み推進
- 青少年科学館への最先端技術導入
- 教育のICT導入による授業の多様化
- 神戸独自の商店街活性化と世代連携

**代表質問**  
2月25日  
北区選出  
**坊やすなが**  
議員

- 新型コロナウイルスの対応
- 教育委員会のガバナンス強化
- 神戸市中央卸売市場業務条例
- 可能性を秘めた神戸力の最大化
- 都心エリアの再整備
- ウォーターフロント地区再開発の早期事業化と新たな事業手法の導入
- 外郭団体について

**総括質疑**  
3月12日  
中央区選出  
**河南ただかず**  
議員

- 新型コロナウイルスの対応
- 東須磨小学校における教員間ハラスメント事案
- 神戸の交通機能強化
- 兵庫県との連携強化
- MICE施設の再整備
- 私道の街灯設置助成

## 意見表明(抜粋)

令和2年3月13日

# 令和2年度神戸市各会計予算案について 要望を付して承認しました。

自由民主党神戸市会議員団は、令和2年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計50議案について、以下の理由により要望30件を付して承認します。また、第18号議案に対する附帯決議案については、賛成します。また、「予算第1号議案令和2年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については、反対します。

### 理由

令和2年度予算案は、神戸の「再生」に向けた新たな政策展開に積極的に取り組むものとなっています。これは、人口減少時代に対応するための子育て・教育環境の充実重点をおきつつ、神戸経済の活性化のための雇用の創出や、福祉・医療・防災などの充実、都心再整備はもとより、地域の発展をめざしたバランスのとれたまちづくりへの取り組みなどが反映されているのであり評価します。

一方、現在発生している新型コロナウイルスへの対応については、市民の健康と暮らしを守るため、感染拡大の防止を第一に、全庁一丸となってあらゆる策を講じ、緊急に必要な補正予算案や関連議案等は早急に上程され、一日も早い終息と日常の回復を願って、我が会派も全面的に協力したいと考えています。

また、これまでの行財政改革により、財政健全化指標は着実に改善しているものの、少子超高齢化の進展に伴う社会保障費の増大は避けられず、将来世代に負担を残さないためにも、最終年次にあたる「神戸市行財政改革2020」の完遂に向けて全力で取り組み、安定的な財政基盤を構築していくことを期待し、令和2年度神戸市各会計予算案並びに関連議案を承認します。

### 現下の新型コロナウイルス対応について要望致します。

- 医師会などの医療機関や関係者に対し、医療用マスクや消毒用アルコール等の安定供給見通しや、感染者への対処方法など国と密接連携し、十分な情報共有を行うこと。
- 市内の中小企業や飲食店などの事業者に対し、融資制度の要件緩和や市税納付の猶予など個別事情に配慮し、寄り添った姿勢で経済支援に取り組むこと。
- 市民に対し、相談窓口の周知徹底をはじめ市民が安心できる相談体制や検査機関の強化充実に努めるとともに、拡大防止の観点で正しい情報をプライバシーに配慮し、適切に発信すること。
- 学童保育施設等一部機関のみに過度な負担をかける状態を長期化させないよう、適切な人員配置ならびにハード対策を市全体で迅速に行うとともに、緊急時の職員配置や施設対応計画の整備につなげること。
- 感染拡大防止に万全を期すため、神戸空港および神戸港における水際対策の一層の強化に努めること。

### 次に予算案ならびに関連議案について要望致します。

- 神戸市の宝物である六甲山の有効利用と開発を進めること。
  - 発達障害の早期発見がひきこもり防止につながるため、発達障害を診断できる医師の養成などを国に要望すること。
  - 神戸市の子供を虐待から守るため、神戸市関係職員は「神戸市子どもを虐待から守る条例」を厳守すること。
  - 待機児童対策と並行して在宅育児への経済支援や、ベビーシッターの利用補助制度の創設を検討すること。
  - 六甲山上の道路整備においては、歩行者・自転車の安全性を確保するとともに、景観にも配慮すること。
  - 今回の休校園で自宅学習の有効な手段として注目された学習支援ツールについて、学校での利用率を一層高めるよう取り組むとともに、国レベルで進めるGIGAスクール構想など、いかなる環境下でもオンライン授業が受けられる教育環境を整備するよう努めること。
- 他、合計24件

# 神戸市政報告

編集・発行:自由民主党神戸市会議員団 〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL078-322-5846

自由民主党神戸市会議員団  
神戸市会議員  
灘区

# 吉田健吾



## ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

- 昭和57年5月26日神戸市灘区生まれ●都幼稚園～灘小学校～鷹匠中学校～神戸高校～神戸大学発達科学部卒業(在学中は野球部で活躍)～日本生命保険相互会社～家業である株式会社コーアイ入社～盛山正仁衆議院議員の秘書として、主に国会で政治の現場を勉強する。●平成27年4月神戸市会議員選挙初当選(2期目)
- 家族/妻・長男・次男●所属団体/都賀財産区管理会、都賀だんじり保存会、神戸楽生会、灘納税協会青年部会、神戸青年会議所

## 神戸市の予算

### 令和2年度 予算総額: 1兆8,591億円 (前年比: +592億円)

- 一般会計: 8,387億円(前年比: +270億円)
- 特別会計: 6,708億円(前年比: -93億円)
- 企業会計: 3,496億円(前年比: +415億円)

神戸市のお金の使い道(予算)をわかりやすく

## 一般会計の支出を 54.7万円にします。

福祉の充実に	教育・文化の振興に	環境・衛生の向上に
22.9万円	9.1万円	3.8万円
産業の振興に	住宅・まちづくりに	道路・公園に
0.9万円	1.9万円	3.2万円
消防・救急に	市会・区役所・市役所の行政の運営などに	市債の返済に
1.3万円	5.7万円	5.9万円

### ごあいさつ

MESSAGE

春暖の候、本格的な春がやってきました。平素よりご理解とご支援をたまわり心より御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが猛威をふるい、神戸市内におきましても刻々と新たな感染の報告がされています。引き続き、感染症対策の3つの基本である、①こまめな手洗い、②咳エチケット、③風邪症状時の外出自粛を守っていただき、感染拡大防止に向けて、冷静な行動が必要な時だと思います。

さまざまな対応におられるなか、令和2年第1回定例会市会が開催され、令和2年度神戸市予算案に関する審議がされました。私は、予算特別委員会で水道局と建設局に対し局別審査をさせていただきました。質疑内容について、中面に「議事録抜粋」を掲載いたしましたので、ぜひ、ご一読ください。

これからも皆様の声をお伺いし、市政に反映させられるよう努力してまいります。

神戸市会議員 吉田健吾

## 新型コロナウイルス感染症相談窓口について



神戸市:新型コロナウイルスについて

### 新型コロナウイルス専用健康相談窓口

24時間受付 多言語対応 **078-322-6250**

■対象者: 予防に関すること、感染症・健康不安に対する一般的な相談のある方。

### 帰国者・接触者相談センター

24時間受付 多言語対応 **078-322-6829**

■対象者: ●新型コロナウイルス感染者と濃厚接触があり、発熱または呼吸器症状のある方 ●発熱が4日以上(高齢者・基礎疾患等のある方は2日程度)続く方。

市政、暮らし、各種申請手続きでわからないことは...

神戸市総合コールセンター **078-333-3330** 年中無休:08:00~21:00

## 子育てがしやすく、安心して暮らせる街へ。

神戸市会議員 吉田健吾事務所

〒657-0835 神戸市灘区灘北通3-2-8 TEL078-861-5566 FAX078-861-3456 ●JR「摩耶駅」下車、北東へ徒歩約4分

灘区からGo!  
吉田健吾  
ホームページ  
yoshidakengo.jp







## 令和2年度 第1回定例会

# 令和2年度予算案について 局別審査を行いました。

水道局 令和2年2月27日

## 1. 中長期経営計画について

■質問: 吉田健吾  
今年度は中期経営計画2019の最終年度で、次期中期経営計画の策定中と聞いています。まず、評価・検証、そして次期計画の基本的な考え方と重点ポイントをお伺いします。

■答弁: 広瀬水道局長  
水道システム最適化に関して、公・民連携の手法を採用した再整備。災害への備えについては、配水池また配水管の耐震化。経営の持続ということでは、料金収納関連業務の包括委託、遊休資産の売却。また広報とコミュニケーションの充実強化は、多様な媒体を活用した広報を進めることができました。次の計画は4年間の計画期間とした具体的な施策と、10年間の財政見通しもあわせて公表したい。

■質問: 吉田健吾  
世界的にSDGsの推進が求められています。当局の次期中期経営計画においても、SDGsの観点を組み入れる予定と聞いております。取り入れるに至った経緯についてお伺いします。

■答弁: 広瀬水道局長  
官民間問わずSDGsの観点を経営戦略に取り入れようとする動きが広がっています。たとえば、災害や事故等に備え、基幹施設の複数系統化によるバックアップ体制の強化の確保に取り組んでいます。国際目標でありますSDGsの推進に寄与してまいります。

■質問: 吉田健吾  
管路更新などで蓄積された技術を国際貢献として海外に展開していると思います。その進捗状況と、この事業によりSDGsの理念がどう具現化するとお考えかお尋ねします。

■答弁: 広瀬水道局長  
管路更新と遠隔監視制御システム、この2つの技術につきまして、スリランカ国に対しまして技術支援を進めています。SDGsの具現化との関係では、「安全な水とトイレを世界中に」。安全に管理された飲料水のサービスを利用する人口の増加に寄与すると考えます。

## 2. 経年配水管の更新について

■質問: 吉田健吾  
配水管の維持管理は欠かせません。中期経営計画2019の中で、経年劣化した配水管更新のペースアップが掲げられております。これまでの達成状況と今後の計画についてお尋

ねします。また、更新箇所をどのように把握し、選定しているのかも、あわせてお伺いしたい。

■答弁: 林水道局事業部長  
今年度、目標の40キロは達成できる状況です。現在、入札不調対策に加え、工事業務の効率化や多様な発注方法に向けた取り組みを進めています。当面、年間40キロの配水管更新を進めていきたい。

古い材質の管路、土壌の腐食の程度、これらから更新の優先順位を決定するプログラムを用いて第1次選定とします。この抽出した路線と、ほかの工事と一緒にやれば舗装復旧費等の経費が削減できる工事路線を選定しています。

■質問: 吉田健吾  
市内総延長約4,800～4,850キロ。年40キロ更新であれば更新率1%に満たない。全て更新するのに100年以上かかる。耐用年数は法定40年。実質80年。つじつまが合わない。

また、今後過疎化が進む地域であっても、水道の供給は続けていかなければなりません。どのように安定供給を図っていくのか。

■答弁: 林水道局事業部長  
施設のダウンサイジングを図るとともに、適切な維持管理、AI、ICTなどの新技術の導入による水道事業のイノベーションを目指して、さらに水道事業を効率的に運営していく。

## 3. 六甲山上の水道について

■質問: 吉田健吾  
神戸市水道条例(S39制定)と、神戸市六甲山上水道条例(S47制定)という2つの水道条例があり、六甲山上の水道は、市街地料金と別体系になっています。なぜ、このように違う条例をつくって、別の体系となっているのか。

■答弁: 児玉水道局副局長  
独自の水源、また浄水場を整備して、利用形態も六甲山固有の特徴があることから、市街地とは別の事業認可を受け、別の料金体系で事業を行っています。1年を通して水道水を使用していない利用者の割合が、全体の半数程度を占めることから、従量料金で固定的経費を回収するということが難しい。

■質問: 吉田健吾  
これから事業所の誘致も含め、六甲山の新しい使い方が提案されている。統一した料金体系にしてはどうか。

■答弁: 広瀬水道局長  
六甲山に安定的に水を供給するためには、六甲山浄水場にかわる施設整備の検討が必要になります。現在別認可になっております六甲山の水道事業との統合を含め検討したい。

## 4. スマートメーターについて

■質問: 吉田健吾  
スマートメーターを平成28年から実証実験されていますが、実験が停滞しているのではないかと。例えば水道のPRのためにUrban Innovation JAPANを活用しておりますが、効率化という面についても、そういう新しい技術を取り入れるべきではないかと。

■答弁: 林水道局事業部長  
スマートメーターにつきましても、今ハードの時代ですが、これがソフトの時代になれば、その辺とは連携していきたいと考えています。

■要望: 吉田健吾  
まもなく5Gの時代になり、通信環境も変わっていきます。効率化のためにぜひ取り組みいただければと思います。

## 建設局 令和2年3月6日

### 1. 大阪湾岸道路西神部について

■質問: 吉田健吾  
阪神臨海地域の交通負担を軽減し、慢性的な交通渋滞や沿線環境などの交通課題の緩和を図るとともに、阪神港の機能強化による物流の円滑化・効率化などの効果が期待できます。現在の進捗状況をお伺いしたい。

■答弁: 名倉建設局湾岸・広域幹線道路本部長  
企業活動に影響を与えないよう、工事中の配慮はもちろんのこと、移転補償等につきまして適切な配慮が求められます。このため、令和2年度より借地企業の移転補償事務を国土交通省から受託して、本市が実施するということしております。

### 2-1. 歩道の整備について

■質問: 吉田健吾  
景観などに配慮が必要な路線や地区において、歩道等にインターロッキングブロック等を用いた舗装が行われていますが、同じ路線や地区であっても、そのときそのときに材料を決めており、ばらばらになっている。質の高い道路空間をつくるために、カラー舗装について統一的な基準をつくり、整備を行っていくべきと考えますが、御見解をお願いいたします。

■答弁: 三島建設局長  
デザインの統一化を図るとともに、維持管理によるコスト縮減も図っていく必要がある。今年度末を目途に、カラー舗装に関する方針を取りまとめている。

■要望: 吉田健吾  
規格を定め、材料を統一するで、廃番になることも防げます。よい基準をつくっていただきたい。

### 2-2. 根上がり対策について

■質問: 吉田健吾  
40年以上経過する街路樹が増加しており、街路樹自体の大木化や老朽化問題のほか、根上がりにより車道や歩道が危険な状態になっている箇所が市内一円に散見されます。計画的な車道や歩道の根上がり対策が必要と考えます。

■答弁: 三島建設局長  
著しい根上がりなどにより道路交通上の支障となっている街路樹につきましては、樹種転換や樹木更新に取り組んでいる。将来の根上りを予防するために、透水性舗装の導入や土壌改良等を行ったり、根を地中に誘導するようなシートを植栽マスの周辺に設置するなどの対策を行っている。

### 3. 六甲山上の道路整備について

■質問: 吉田健吾  
六甲山上は兵庫県が進めているひょうごサイクリングモデルルートの一部にも該当しており、今後、自転車利用者の増加も見込まれております。歩行者と自転車利用者が安全に通行できるような道路整備を図っていくべきと考えますが、御見解をお願いいたします。

■答弁: 岩崎建設局道路部長  
安全で快適な山上移動ができるよう、丁字ヶ辻から六甲山サイレンスリゾートの西側部分までの通学路となっている区間約600メートルの歩道整備を進めることとしております。記念碑台から掬星台ま

では、歩行者が安心して通行できると思っております。令和2年度につきましては、詳細設計、用地測量を行いまして、一部用地買収もできるかと思っております。着実に歩道整備を進めていきたい。

■要望: 吉田健吾  
歩いていく人は景色も楽しみたいわけで、斜面側は結構鬱蒼と木が生えている。せっかくの景色を隠している。工夫をして、そういった景観もつくり出していただきたい。

### 4. 住区基幹公園の整備について

■質問: 吉田健吾  
区ごとや区内の地域ごとに見ると、整備されている公園の数には大きな差がある。例えば小学校区内にほとんど公園がない校区が、市内に幾つかある。どのような対応をしていくことができるのか。

■答弁: 広脇建設局担当局長  
地域の方々が民有地を借りていただいて公園を設置する場合に市が助成を行う市民公園の制度がございます。また、密集市街地にて火災延焼を防止するため、防災空地の整備も進められている。学校や公営住宅など公共施設の統廃合などが実施されるような機会に公園の確保ができないか。そんなことにも取り組んでいきたい。

■質問: 吉田健吾  
灘区においては、摩耶小学校の校区にほとんど公園がない。家2軒分ぐらいのブロック敷きの防災空地があり、子供らが遊べるだけ遊ぼうと頑張っている。大きな公園をつくらせてくださいという要望ではない。本当にちっちゃな区画でもいからできることを考えて取り組んでいただきたい。

### 4. 王子動物園について

■質問: 吉田健吾  
都心にある意義。公共交通機関ですぐ来れる場所にあるという王子動物園の意義をお答えいただきたい。

■答弁: 三島建設局長  
王子動物園は、非常に利用しやすい公園になっている。もう1つ申し上げますと、約50%はやはり自動車で来られているという状態です。都心の本当にいいところにある王子動物園と、その中でその立地の敷地というポテンシャル、そういうものを全て含めてどう考えていくかというのは非常に大きな課題だと感じております。

■質問: 吉田健吾  
日々の動物とどう接しているかということも動物福祉に大きく関係すると思います。動物とのかかわり方という面でどう努力をされているか、お聞かせいただきたい。

■答弁: 上山建設局王子動物園長  
動物の展示ではなく、生態とか、それぞれ1頭1頭の性格、例えばちょっと臆病であるとか、そういったものを職員が手づくりで園内に展示しています。全国的に見ると園舎は狭いですが、職員の工夫で入園される方に喜んでいただける動物園づくりは今後も続けていきたい。

■要望: 吉田健吾  
灘区でまちづくりを考える時に、王子動物園は大きな基点となる施設です。来年3月21日、盛況に70周年を迎えられるようよろしく願いいたします。

# ずっといっしょ。まっすぐ未来へ



## 神戸市議員 灘区 吉田健吾

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。

神戸市会